

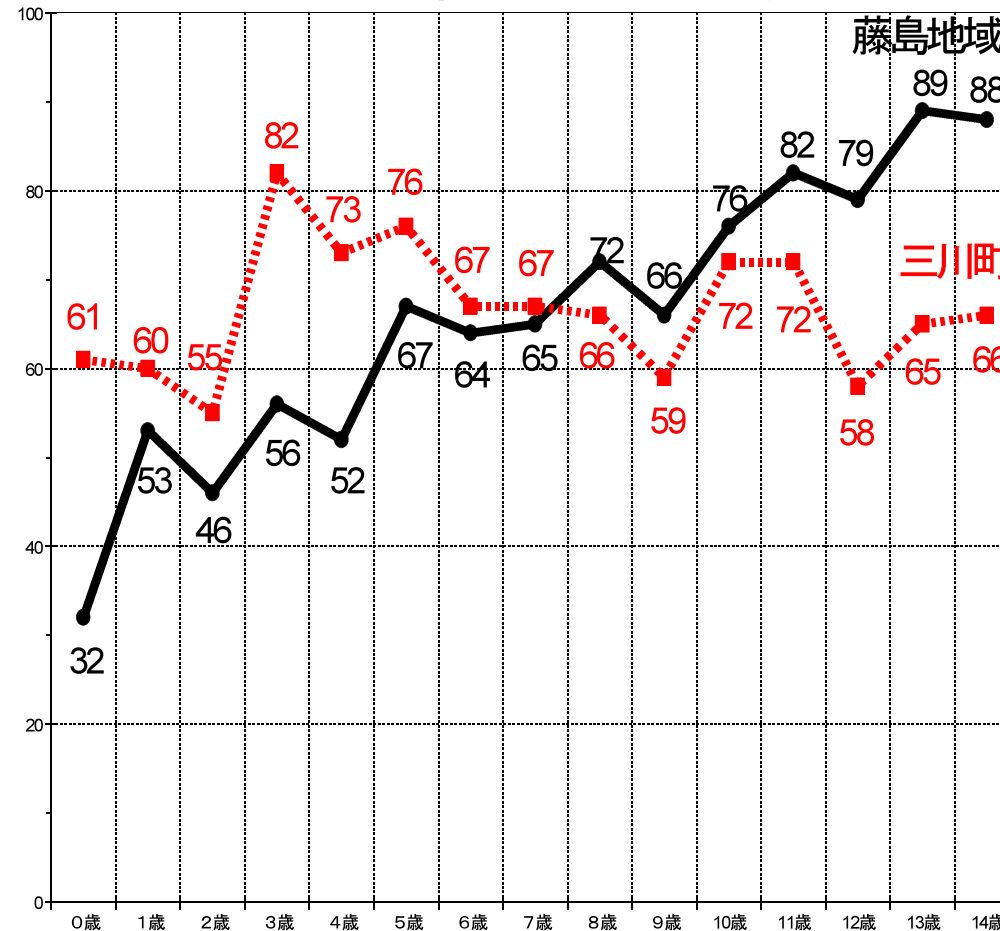
藤島地域の地区別子どもの数（2021年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
藤島	男	9	9	9	13	14	15	14	20	17	12	27	20	20	19	21
	女	2	16	9	11	13	14	18	16	15	16	14	22	23	13	25
	計	11	25	18	24	27	29	32	36	32	28	41	42	43	32	46
八栄島	男	2	1	1	4	4	2	1	2	6	2	4	5	4	6	1
	女	4	2	3	6	3	5	4	3	4	4	6	8	4	5	5
	計	6	3	4	10	7	7	5	5	10	6	10	13	8	11	6
長沼	男	2	1	2	4	3	5	2	2	3	4	2	5	5	3	3
	女	3	3	2	2	3	6	4	4	4	1	6	2	2	5	1
	計	5	4	4	6	6	11	6	6	7	5	8	7	7	8	4
渡前	男	3	6	4	2	0	1	3	5	5	10	4	6	7	10	7
	女	3	7	4	6	1	7	4	3	6	8	5	5	6	17	6
	計	6	13	8	8	1	8	7	8	11	18	9	11	13	27	13
東栄	男	3	5	9	2	8	5	8	5	4	3	4	4	5	5	9
	女	1	3	3	6	3	7	6	5	8	6	4	5	3	6	10
	計	4	8	12	8	11	12	14	10	12	9	8	9	8	11	19
合計	男	19	22	25	25	29	28	28	34	35	31	41	40	41	43	41
	女	13	31	21	31	23	39	36	31	37	35	35	42	38	46	47
	計	32	53	46	56	52	67	64	65	72	66	76	82	79	89	88

三川町の子どもの数（2021年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	男	31	41	27	45	37	43	37	33	36	28	41	39	38	31	29
	女	30	19	28	37	36	33	30	34	30	31	31	33	20	34	37
	計	61	60	55	82	73	76	67	67	66	59	72	72	58	65	66

2021年度 藤島地域と三川町の子どもの数



藤島の0歳児32人

平成大合併の過ちを劇的に証明 子育て世代の施策へ転換を

鶴岡市の3月31日現在の住民基本台帳によれば、藤島地域の昨年度出生数は32人に激減しました。

鶴岡市全体の0歳児は636人で、1歳児から1000人減っています。

2005年の平成大合併が、取り返しのつかない重大な「過ち」の選択だったことを劇的に証明しています。

自立の選択をした三川町は、出生数が60〜70人台を維持し、まちづくりが安定しています。

他の旧町村地域では羽黒32人、櫛引33人、朝日17人、温海20人です。

旧町村は合併で独自サービスがなくなり、かつての「郡都」であった藤島地域も、鶴岡市の周辺部として他地域と均質化していることを示しています。

「行財政改革」の呪縛から脱して

市町村合併がなぜ少子化を加速するのか。

合併は「究極の自治体リストラ」と言われるように、行政と議会は「行財政改革」に捕らわれてしまっています。

小学校を統廃合し、保育所や給食センターなど公共施設の運営は民営化し、公務員への就職窓口を閉ざし、子どもを産む世代は地域に定着できません。

少子化を解決するためには、行財政改革の呪縛から脱して、子育て世代が必要としている施策に転換することです。

保育所や給食センターの直営化、歩いて通える小学校を復活・存続すること、学校近くに若者住宅を設置し格安で提供すること、ランドセル贈呈の復活、そして子どもの遊び場の整備などが考えられます。

合併時に1万1968人だった藤島地域の総人口は2019年5月に1万人を下回り、3月末で9665人となり、減少率も加速しています。

平成大合併の過ちを正面から問い直し、旧町村への分権を大胆に進め、住民によるまちづくりの復活が大切です。

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月200円程度）
4月 21人 12,333円
3月 46人 41,436円

0歳児が急減 平成大合併の過ちを劇的に証明 子育て世代の施策へ転換を

鶴岡市の3月31日現在の住民基本台帳によれば、鶴岡市全体の0歳児は636人で、1歳児から100人減っています。

2005年の平成大合併が、取り返しのつかない重大な「過ち」の選択だったことを劇的に証明しています。

自立の選択をした三川町は、出生数が60〜70人台を維持し、まわづくりが安定しています。

旧町村地域では藤島32人、羽黒32人、榊引33人、朝日17人、温海20人です。

旧町村は合併で独自サービスがなくなり、鶴岡市の周辺部として均質化しています。

「行政改革」から脱して

市町村合併がなぜ少子化を加速するのか。

合併は「究極の自治体リストラ」と言われるように、行政と議会は「行政改革」に捕らわれてしまっています。

小学校を統廃合し、保育所や給食センターなど公共施設の運営は民営化し、公務員への就職窓口を閉ざし、子どもを産む世代は地域に定着できません。

少子化を解決するためには、行政改革の呪縛から脱して、子育て世代が必要としている施策に転換することです。

保育所や給食センターの直営化、歩いて通える小学校を復活・存続すること、学童保育の整備、学校近くに若者住宅を設置し格安で提供すること、ランドセル贈呈の復活、そして子どもの遊び場の整備などが考えられます。

平成大合併の過ちを正面から問い直し、旧町村への分権を大胆に進め、住民によるまちづくりの復活が大切です。

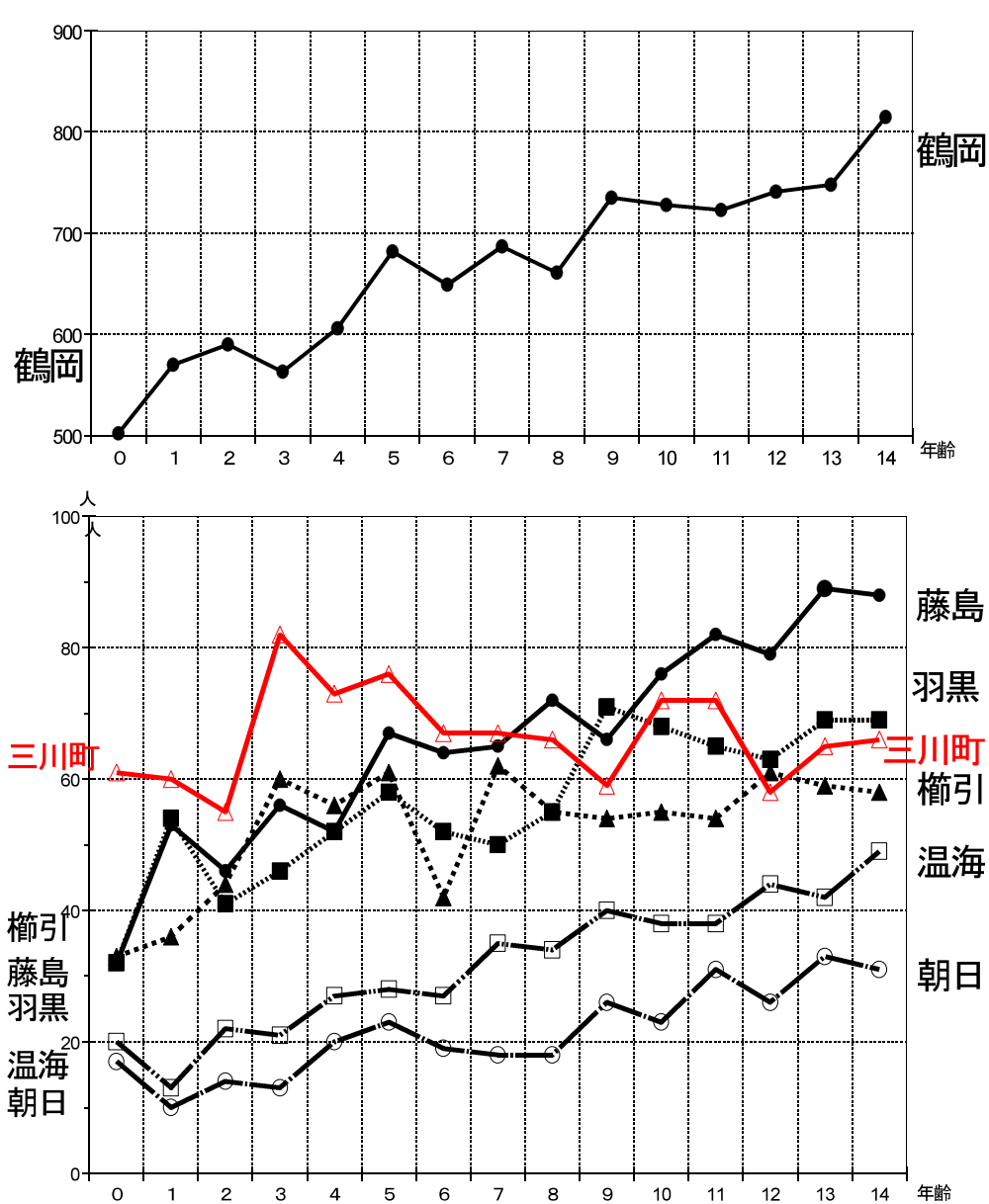
鶴岡市の地域別子どもの数（2021年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
		鶴岡	男	253	295	292	281	285	347	303	340	329	378	361	389	394
	女	249	275	298	282	321	335	346	347	332	357	367	334	347	335	411
	計	502	570	590	563	606	682	649	687	661	735	728	723	741	748	815
藤島	男	19	22	25	25	29	28	28	34	35	31	41	40	41	43	41
	女	13	31	21	31	23	39	36	31	37	35	35	42	38	46	47
	計	32	53	46	56	52	67	64	65	72	66	76	82	79	89	88
羽黒	男	14	30	22	24	23	33	32	29	26	35	33	34	31	36	29
	女	18	24	19	22	29	25	20	21	29	36	35	31	32	33	40
	計	32	54	41	46	52	58	52	50	55	71	68	65	63	69	69
榊引	男	22	18	26	37	32	27	17	31	29	33	22	29	26	34	29
	女	11	18	18	23	24	34	25	31	26	21	33	25	35	25	29
	計	33	36	44	60	56	61	42	62	55	54	55	54	61	59	58
朝日	男	12	6	5	6	11	12	9	12	13	14	9	17	15	15	14
	女	5	4	9	7	9	11	10	6	5	12	14	14	11	18	17
	計	17	10	14	13	20	23	19	18	18	26	23	31	26	33	31
温海	男	10	10	11	8	15	17	16	19	15	15	21	18	19	19	23
	女	10	3	11	13	12	11	11	16	19	25	17	20	25	23	26
	計	20	13	22	21	27	28	27	35	34	40	38	38	44	42	49
合計	男	330	381	381	381	395	464	405	465	447	506	487	527	526	560	540
	女	306	355	376	378	418	455	448	452	448	486	501	466	488	480	570
	計	636	736	757	759	813	919	853	917	895	992	988	993	1014	1040	1110

三川町の子どもの数（2021年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
		三川町	男	31	41	27	45	37	43	37	33	36	28	41	39	38
	女	30	19	28	37	36	33	30	34	30	31	31	33	20	34	37
	計	61	60	55	82	73	76	67	67	66	59	72	72	58	65	66

鶴岡市（旧市町村別）と三川町の子どもの数（2021年3月31日）



知友宅看梅

知友 宅に梅を看る

城貞（藤の花）

庭除植梅三十年
擁途芳潤養花天
留人香処有紅白
鳥雀時喧春可憐

庭除に梅を植えて三十年
途を擁して芳潤 養花の天
人を留む香処 紅白 有り
鳥雀 時に喧し春 憐む可し

庭に 梅を植えて三十年になる。

道いつぱいの 梅の花が芳しくにおい 花曇りの空模様である、
道端に立ち止まって 匂いのする方を見ると 紅色と白色の二本の梅
が 咲きほころんでいる。

時々 小さな鳥が飛んできて その鳴き声はやかましい。

花が咲き 鳥が飛び 行楽に宜しき春は 愛すべきものである。

知友 心をよく知る友。宅 すまい。庭除 庭。擁途 道いつぱいに。

芳潤 花が香ばしくかおる。養花天 花曇り。留人 人を引きとめる。

香処 におう処。鳥雀 小鳥。時 ときどき。喧 さかんになる。憐

そのものの持つよさを味わう。

世界の国々 アメリカ② グアンタナモ収容所の内幕を 書いたモハメドウ 青山 崇

モハメドウ・ウルド

ンジンアになった。

・スラヒはアフリカ・

2001年の米同時

モータニアに生まれ、

多発テロで、自国でア

ドイツの大学で学びエ

メリカCIAに拘束さ

れ、収容所でアルカイ
ダの最重要人物と誤認
され、性虐待を含む激
しい心身への拷問を受
けた。

逮捕、起訴、裁判な

ど司法手続きは一切な

いまま、「食べること」

「トイレに行くこと」眠

ること」など、人とし

て生きる全ての活動が

24時間監視下に置かれ、

自由と権利の一切を奪

われ、終わりの見えな

い日々が続いた。

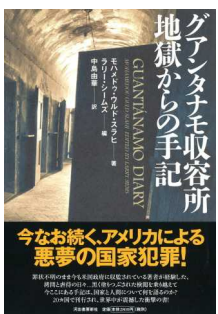
解放を大きく後押し

したのは米国人弁護士

らで、『獄中記』も20

15年1月に出版され

た。



日本でも同年出版さ
れた。

当局の検閲により、

手記の多くの文言が黒
塗りされたままの出版
だったが、大半の市民
が知らされていないなかつ
たことが書かれていた。
米国が誇ってきた民
主主義の原則とは正反
対の収容所の過酷な実
態。その中で助け合う
収容者たち。拷問役を
命じられた若い米兵が
負う「心の傷」を思い
やるモハメドウ。監視
役の米兵たちとの友情
世界最強の国が暴走
する時、何が起き、究
極の立場に立たされた
時、人はどう行動する
のか。



五輪中止を早く

早いもので今年は3
ヶ月・つまり4分の1
が過ぎたんだ。それだ
け7月23日の五輪開会
日に近づいたんだな。

開催が1年延期になっ

たのは、コロナのせい

で当然のしようのない

事なんだが、今のコロ

ナの状況で今年は大丈

夫なんですかネ。

▲今の大阪の発生状況

を見ると、2週間後の

東京は手を超えるので

はないかと心配してい

るようだ。専門家の話

だヨ。5月に大きな山

が東京に来る状況では、

無理でしょ。早いとこ

五輪は今年も開けねー

と決めたらいいと思っ

んだが。遅くなるほど

世界から恨まれるヨ。

▲言い出しつべは誰が

なるかだが、その方向

を決定できる集まりを

開けるのは、何人もい
るまいぜ。ま・組織委
員長が、首相と都知事

手記は米国などでベ
ストセラーとなり、モ
ハメドウ解放を求める
国際的な声が高まった。
モハメドウは201
6年10月16日、目隠し
と手錠、足かせをされ
て米軍輸送機に乗せら
れ、翌日モータニア
で解放された。



（獄中記持つモハメドウ）

に声をかけてだナ。最
後に金に責任がある2
人だろっからサ。

▲聖火リレーを大阪は
やらないと言う。理由
は、感染拡大の状況か
ら過密は避けたいんだ
と。当然だと思っヨ。

▲その過密の話だが、

聖火リレーがテレビに

出るが、笑えない笑い

話を見せられているよ

うなもんだぜ。走者は、

その地その地で最も相

応しい人が選ばれてい

る。当然選ばれた人は、

にこやかに手を振って

走るんだが、これを沿

道の観衆は大きな声で

喜んではいけないのだ。

大声を注意する人まで

大勢配置されているん

だツケ。人が大勢出て

きてもいけないんだト。

密だと判断したら中止

になるんだとサ。

▲これで五輪を盛り上

げる為の聖火リレーな

んだとヨ。こんな変な
事をエンエンとやるん
だぜ。利口な者のやる
ことかネ。(石川)

